

事業シート(平成29年度決算)

25_畜産課.xlsx_1

事業名	52100 畜産事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約	・基幹産業の一つである農林畜産業の振興等を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
					款	5	農林水産業費		個別分野	7	畜産業		
					項	2	畜産事業		施策概要	1	活気ある畜産生産地づくり		
					目	1	畜産総務費		根拠計画				
担当課	農政部 畜産課	内線	2240										

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・畜産業の振興を図る。	概要	・飛騨畜産振興会の活動支援、畜産委員への報酬等
----	-------------	----	-------------------------

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標
畜産粗生産額(年間)	104億円	104億円	79億円
「地元の畜産物が広く消費され、畜産業が活性化している」と感じている市民の割合	70.7%	72.3%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H28		H29		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		1,025	991	1,041	1,041	1,010
特定財源	国費 ()					
	県費 (県移譲事務交付金)	30	30	30	30	30
	その他(敷地占有料、財産収入)	36	40	36	36	40
一般財源		959	921	975	975	940
個票枝番	主な事業内容					
	飛騨畜産振興会負担金	745	745	761	761	761
	動物愛護フェスティバル実行委員会負担金	0	0	0	0	0

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	・畜産振興会議の開催(19回) ・飛騨畜産振興会(飛騨3市1村及びJAなどで構成)で、畜政活動・畜産経営指導・共進会・全共取り組み・家畜伝染病への対策と対応などを実施
評価等	・飛騨畜産振興会の活動への負担により、飛騨地域としての畜産振興が効率的に行われている。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定 ・家畜市場価格や農家経済など、情勢を注視しながら事業を継続して実施する。

5.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	・飛騨畜産振興会(飛騨3市1村及びJAなどで構成)で、畜政活動・畜産経営指導・共進会・全共取り組み・家畜伝染病への対策と対応などを実施
評価等	・飛騨畜産振興会の活動への負担により、飛騨地域としての畜産振興が効率的に行われている。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定 ・家畜市場価格や農家経済など、情勢を注視しながら事業を継続して実施する。

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額	—
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
1,706	1,715	1,715	674
30	30	30	0
40	1,471	1,471	1,435
1,636	214	214	△ 761
査定額	説明		
1,135			
300	H30高山市開催		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

施策の実施方針	・畜産ブランドの創出
担当課 予算要求 ポイント	・畜産振興上の必要経費を主体とし、畜産振興団体への支援負担金・報酬等により畜産振興を図る。 ・飛騨畜産振興会負担金

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

25_畜産課.xlsx_1

52100

事業シート(平成29年度決算)

25_畜産課.xlsx_2

事業名	52205 繁殖雌牛導入支援事業費 (旧 後継者等肉用牛貸付事業費)			予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約	・基幹産業の一つである農林畜産業の振興等を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
					款	5	農林水産業費		個別分野	7	畜産業		
					項	2	畜産業費		施策概要	4	担い手の育成・確保		
					目	2	畜産振興費		根拠計画				
担当課	農政部 畜産課		内線	2240									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・飛騨牛繁殖基盤を確保・拡大し、畜産の安定経営を図る。	概要	・繁殖牛導入資金を借りた場合の利子、保証料を補給するもの (これまでの肉用繁殖雌牛の5年間無償貸付から融資制度に改正する)
----	-----------------------------	----	--

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標
肉用牛繁殖雌牛頭数	3,340頭	3,428頭	3,400頭

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H28		H29		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		30,948	14,300	31,000	31,000	24,100
特定財源	国費 ()					
	県費 ()					
	その他(畜産振興基金繰入金)	30,948	14,300	31,000	31,000	24,100
一般財源		0	0	0	0	0
個票枝番	主な事業内容					
	繁殖雌牛導入資金融資利子補給金・保証料補給金					
	県補助金返還					
	後継者等肉用牛貸付事業	30,948	14,300	31,000	31,000	24,100

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	・貸付頭数 高齢者 27頭、後継者等 7頭
評価等	・畜産農家戸数減少等により7年間減少が続いていた繁殖雌牛飼養頭数が増加に転じた。(H27→H28頭数+2.1%) ・大規模飼養農家ばかりでなく、小規模飼養農家にとっても繁殖雌牛の保留や導入が可能であり、経営継続に効果がある。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定 ・繁殖農家の経営にとって有効な事業であるため、事業の適切な推進を図り継続する。

5.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	・貸付頭数 高齢者 39頭、後継者等17頭
評価等	・畜産農家戸数が減少する中、前年に引き続き繁殖雌牛飼養頭数が増加した。(H28→H29頭数+2.6%) ・大規模飼養農家ばかりでなく、小規模飼養農家にとっても繁殖雌牛の保留や導入が可能であり、経営継続に効果がある。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定 ・畜産農家の利便性と和牛の改良・増頭への効果を更に高めるため、現行の後継者等肉用牛貸付制度を廃止し、繁殖雌牛導入支援制度を新設する。導入等資金に対する利子・保証料補給を行う。

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額	1,620
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
36,000	50,841	50,841	19,841
36,000	50,841	50,841	19,841
0	0	0	0
査定額	説明		
1,620			
49,221			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

施策の実施方針	
担当課 予算要求 ポイント	・飛騨牛繁殖基盤の確保並びに畜産経営の安定化

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

25_畜産課.xlsx_2

52205

事業シート(平成29年度決算)

25_畜産課.xlsx_3

事業名	52210 家畜防疫衛生事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約	・基幹産業の一つである農林畜産業の振興等を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
					款	5	農林水産業費		個別分野	7	畜産業		
					項	2	畜産業費		施策概要	3	販路の拡大と供給の安定化		
					目	2	畜産振興費		根拠計画				
担当課	農政部 畜産課		内線	2240									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・家畜伝染病の発生予防に努め、低コストで高品質な畜産物の安全安心な生産・供給による畜産経営の向上を図る。	概要	・伝染病調査及び発生予防 ・法定家畜伝染病予防接種助成 ・家畜伝染病予防消毒薬備蓄及び配布
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標
畜産粗生産額(年間)	104億円	104億円	79億円

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H28		H29		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		1,360	1,078	1,160	1,160	1,055
特定財源	国費 ()					
	県費 ()					
	その他(家畜診療等収入)	1,360	922	1,160	1,160	851
一般財源		0	156	0	0	204
個票枝番	主な事業内容					
	防疫用医薬品等	900	352	900	900	712
	法定家畜伝染病予防補助金	200	145	200	200	138

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	・伝染病浸潤状況の調査 ・法定家畜伝染病(鶏ニューカッスル病)予防接種助成 58,000羽 ・県外導入豚特定疾病検査(オーエスキー病) 26頭 ・届出伝染病(牛白血病)抗体検査 1,461頭 ・家畜伝染病対策マニュアルの作成及び周知
評価等	・緊急性のある伝染病等の発生がみられず、防疫事業による予防効果は上がっている。 ・自衛防疫の観点から、生産者自らが防疫措置をとることは重要だが、市及び飛驒地域全体が統一した防疫措置を図る必要があるため、市が主体となって防疫事業を進めることは妥当である。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定 ・予防接種や伝染病の浸潤調査を実施し、防疫措置を講じていく。

5.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	・伝染病浸潤状況の調査 ・法定家畜伝染病(鶏ニューカッスル病)予防接種助成 55,000羽 ・県外導入豚特定疾病検査(オーエスキー病) 0頭 ・届出伝染病(牛白血病)抗体検査 1,417頭 ・家畜伝染病対策マニュアルの作成及び周知
評価等	・緊急性のある伝染病等の発生がみられず、防疫事業による予防効果は上がっている。 ・自衛防疫の観点から、生産者自らが防疫措置をとることは重要だが、市及び飛驒地域全体が統一した防疫措置を図る必要があるため、市が主体となって防疫事業を進めることは妥当である。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定 ・予防接種や伝染病の浸潤調査を実施し、防疫措置を講じていく。

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額	1,400
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
2,448	1,160	1,160	0
1,441	1,160	1,160	0
1,007	0	0	0
査定額	説明		
900			
200	法定伝染病予防接種に対する補助(養鶏)		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

施策の実施方針	
担当課 予算要求 ポイント	・全国における動向の把握及び家畜の伝染病浸潤状況調査 ・消毒薬・消毒機器等の整備による防疫対策及び予防ワクチン接種

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

25_畜産課.xlsx_3

52210

事業シート(平成29年度決算)

25_畜産課.xlsx_4

事業名	52215 家畜人工授精事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約	・基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
						款	5	農林水産業費		個別分野	7	畜産業		
						項	2	畜産業費		施策概要	2	ブランド力のある安全・安心な産地産品づくり		
						目	2	畜産振興費		根拠計画				
担当課	農政部 畜産課	内線	2240											

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・優良子牛の生産、増頭により家畜の改良増殖を推進し、農家の経営安定を図る。	概要	・家畜改良、増頭の推進 ・和牛、乳牛の家畜人工授精 ・和牛、乳牛の受精卵移植・採卵
----	---------------------------------------	----	---

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標
肉用牛繁殖雌牛飼養頭数	3,340頭	3,428頭	3,400頭

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H28		H29		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	増減 (b)-(a)
		24,560	24,110	24,680	24,692	24,326 216
特定財源	国費 ()					
	県費 ()					
	その他(人工授精等手数料、財産収入)	7,815	7,204	7,815	7,815	7,562 358
一般財源		16,745	16,906	16,865	16,877	16,764 △ 142
個票枝番	主な事業内容					
	家畜人工授精事業	24,560	24,110	24,680	24,692	24,326 216
	受精卵移植機材の購入					

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	・人工授精 3,347 件 ・受精卵移植 129 件 ・採卵 37 件
評価等	・人工授精業務の市直営班と業務委託先ともに、技術者が農家への指導的立場として業務を実施したことにより「飛驒牛」ブランドの推進につながった。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定 ・既存の委託先との協議を進め、直営地区の委託化を検討しながら、更なる飛驒牛のブランド化や受胎率の向上を図る。

5.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	・人工授精 3,486 件 ・受精卵移植 108 件 ・採卵 45 件
評価等	・人工授精業務の市直営班と業務委託先ともに、技術者が農家への指導的立場として業務を実施したことにより「飛驒牛」ブランドの推進につながった。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定 ・既存の委託先との協議を進め、直営地区の委託化を検討しながら、更なる飛驒牛のブランド化や受胎率の向上を図る。

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額	25,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
27,027	26,130	26,130	1,450
8,129	9,315	9,315	1,500
18,898	16,815	16,815	△ 50
査定額	説明		
24,830			
1,300			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

施策の実施方針	・畜産基盤の整備促進
担当課 予算要求 ポイント	・優良牛の増産・増頭のための農家支援 ・受胎率向上のための受精卵移植機材整備

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

25_畜産課.xlsx_4

事業シート(平成29年度決算)

25_畜産課.xlsx_5

事業名	52220 繁殖牛舎整備費助成事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約	・基幹産業の一つである農林畜産業の振興等を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
						款	5	農林水産業費		個別分野	7	畜産業		
						項	2	畜産業費		施策概要	1	活気ある畜産生産地づくり		
						目	2	畜産振興費		根拠計画				
担当課	農政部 畜産課	内線	2240											

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・肉用繁殖雌牛飼養頭数3, 500頭(H36)を目指すため、飛騨牛の地元素畜率の向上と飛騨牛ブランドの向上を図る。	概要	・牛舎建設等を行う生産農家、新規就農者、農事組合法人又は農業生産法人に対し助成する。
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標
肉用牛繁殖雌牛飼養頭数	3,340頭	3,428頭	3,400頭

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H28		H29		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		12,000	7,615	37,650	94,706	86,764
特定財源	国費 ()					
	県費 (繁殖牛舎等建設支援事業 1/2、1/3、1/4)	8,250	5,700	29,650	86,706	81,260
	その他(畜産振興基金繰入金、財産収入)					
一般財源		3,750	1,915	8,000	8,000	5,504
個票枝番	主な事業内容					
	繁殖牛舎等の整備に対する助成	12,000	7,615	37,650	94,706	86,764

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	・繁殖牛舎改築 1棟 ・堆肥舎新設 1棟
評価等	・増頭対策にあたり、初期投資の軽減を図ることは有効であり、増頭が促進されている。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定 ・積極的に事業のPRを行い、畜産農家の負担を軽減し、繁殖雌牛の増頭を促進する。

5.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	・繁殖牛舎新築 1棟 ・酪農牛舎新設 1棟ほか ・機械導入 4件
評価等	・初期投資の軽減を図ることにより、増頭が促進された。 ・機械導入により、自給飼料生産や畜ふん処理が増進された。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定 ・積極的に事業のPRを行い、畜産農家の負担を軽減し、繁殖雌牛の増頭を促進する。

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額	15,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
104,768	89,110	89,110	51,460
71,000	61,000	61,000	31,350
	19,894	19,894	19,894
33,768	8,216	8,216	216
査定額	説明		
89,110			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

施策の実施方針	・畜産基盤の整備促進
担当課予算要求ポイント	・肉用繁殖雌牛飼養頭数3,500頭の目標達成に向けて、基盤となる牛舎建設等を推進 ・全畜種農家の生産基盤強化と経営安定化を推進

財務部査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり

25_畜産課.xlsx_5

52220

事業シート(平成29年度決算)

25_畜産課.xlsx_6

事業名	52225 家畜改良推進事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約	・海外からの安価な輸入に対抗できるとともに、国内消費者にも満足されるような農林畜産物のブランド化を強化します。
					款	5	農林水産業費		個別分野	7	畜産業		
					項	2	畜産業費		施策概要	2	ブランド力のある安全・安心な産地産品づくり		
					目	2	畜産振興費		根拠計画				
担当課	農政部 畜産課		内線	2240									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・家畜の改良度や方向性の確認のため各種品評会を開催することにより、畜産物のブランド化を進め、農家の意欲向上による増産を図る。	概要	・各種品評会の開催
----	--	----	-----------

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標
肉用牛繁殖雌牛頭数	3,340頭	3,428頭	3,400頭

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H28		H29		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		2,041	1,947	7,060	7,842	7,731
特定財源	国費 ()					
	県費 ()					
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金、家畜診療等収入、財産収入)	424	370	2,224	2,224	3,323
一般財源		1,617	1,577	4,836	5,618	4,408
個票枝番	主な事業内容					
◎ 1	全国和牛能力共進会に向けた支援	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
	家畜改良推進事業	1,041	947	6,060	6,842	6,731

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	・市畜産共進会の開催 ・全国和牛能力共進会(飛騨畜産振興会)候補牛への支援
評価等	・飛騨畜産振興会への負担により飛騨地域の家畜改良事業が推進されている。 ・市畜産共進会等の開催により、畜産農家相互の意見交換や家畜改良の方向性等を確認することができた。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定 ・県、他市村、JA等関係機関と連携を密にし、各種品評会を実施し更なるブランド化を図る。

5.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	・市畜産共進会の開催 ・全国和牛能力共進会(飛騨畜産振興会)最終候補牛、出場牛への支援
評価等	・全国和牛能力共進会県代表出場牛のほとんどを高山市が占め、飛騨高山高校が最優秀賞を獲得した。 ・市畜産共進会等の開催により、畜産農家相互の意見交換や家畜改良の方向性等を確認することができた。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定 ・県、他市村、JA等関係機関と連携を密にし、各種品評会を実施し更なるブランド化を図る。

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額	1,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
2,151	2,000	2,000	△ 5,060
470	1,424	1,424	△ 800
1,681	576	576	△ 4,260
査定額	説明		
1,000			
1,000			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

施策の実施方針	・畜産ブランドの創出
担当課 予算要求 ポイント	・品評会、共進会等の開催によるレベルアップ ・全国和牛能力共進会の取り組みへの支援

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

25_畜産課.xlsx_6

52225

主要事業個票(平成29年度決算)

事業名	52225家畜改良推進事業費	区分	☐ H29新規	☐ H30新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	農政部 畜産課
			☐ H29拡充	☐ H30拡充		款	5	農林水産業費		
枝番・内容	1 全国和牛能力共進会に向けた支援		☒ その他重要事業			項	2	畜産業費	内線	2240
			☐			目	2	畜産振興費	作成年月	H30.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	・全国和牛能力共進会出品牛、出品者への支援を実施する。 ・全国和牛能力共進会を契機に、飛騨牛の日本一奪還など関係者意識の高揚とともに家畜改良技術の向上を目指し、畜産物のブランド化及び農家の意欲向上による増産を図る。	概要	・全国和牛能力共進会最終候補牛、出場牛への報償等 ・全国和牛能力共進会負担金(飛騨畜産振興会)候補牛、出場牛支援
----	--	----	---

[参考] H28決算(Do・Check) H29.8時点 (千円)

予算額	当初	1,000
	繰越	
	補正等	
	最終	1,000
決算額		1,000
対前年度増減額(決算)		0

[参考] H29当初予算(Action) H29.3時点 (千円)

予算額	当初	1,000
主な経費	・全国和牛能力共進会負担金(飛騨畜産振興会)	
対前年度増減額(当初予算)		0

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

H29決算(Do・Check) H30.8時点 (千円)

予算額	当初	1,000
	繰越	
	補正等	
	最終	1,000
決算額		1,000
対前年度増減額(決算)		0

H30当初予算(Action) H30.5時点 (千円)

予算額	当初	1,000
主な経費	・第12回全国和牛能力共進会負担金(飛騨畜産振興会)	
対前年度増減額(当初予算)		0

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等		
[事業実績] ・全国和牛能力共進会負担金(飛騨畜産振興会)候補牛への支援		
[評価] ・予定どおりの事業を実施できた。		
次年度以降の考え方(担当課)	・飛騨畜産振興会を始め、県、他市村、JA等関係機関と連携を密にし、各種品評会を実施し更なるブランド化を図る。	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容] ・全国和牛能力共進会負担金(飛騨畜産振興会)候補牛、出場牛への支援	
[スケジュール] ・全国和牛能力共進会 候補牛、出場牛への支援 H29年4月～9月	

事業実績、評価等	
[事業実績] ・全国和牛能力共進会最終候補牛、出場牛への報償 47頭 ・全国和牛能力共進会負担金(飛騨畜産振興会)候補牛、出場牛への支援	
[評価] ・目標の最優秀枝肉賞の受賞は叶わなかったが、県代表出場牛のほとんどを高山市が占め、飛騨高山高校は最優秀賞を獲得した。	
次年度以降の考え方(担当課)	・飛騨畜産振興会を始め、県、他市村、JA等関係機関と連携を密にし、各種品評会を実施し更なるブランド化を図る。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容] ・飛騨畜産振興会への全国和牛能力共進会対策負担金 受精卵移植の促進	
[スケジュール] ・5月 飛騨畜産振興会事務レベル調整 飛騨畜産振興会幹事会で方針決定 ・6月 決定事業の実施	

事業シート(平成29年度決算)

25_畜産課.xlsx_8

事業名	52230 牧場運営事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約	・基幹産業の一つである農林畜産業の振興等を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
						款	5	農林水産業費		個別分野	7	畜産業		
						項	2	畜産業費		施策概要	1	活気ある畜産生産地づくり		
						目	2	畜産振興費		根拠計画				
担当課	農政部 畜産課	内線	2240											

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・夏山冬里方式の飼養管理として放牧を推進し、他産業との複合経営の促進、飛騨牛の低コスト生産及び増産を図る。	概要	・放牧場の整備・充実を図るとともに、適正な牧場利用調整・推進を図る。
----	---	----	------------------------------------

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標
畜産粗生産額(年間)	104億円	104億円	79億円
地域内飼料自給率	29%	29%	31%

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H28		H29		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		22,350	20,293	21,350	20,556	19,432
特定財源	国費 ()					
	県費 ()					
	その他(放牧料、財産収入)	10,800	6,579	7,800	7,800	6,120
一般財源		11,550	13,714	13,550	12,756	13,312
個票枝番	主な事業内容					
	市営牧場の管理委託(岩井、久手、小鳥山、一色、飛騨御岳)	13,850	12,648	13,850	13,750	13,586
	施設修繕	2,000	1,985	1,000	1,000	627

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	・5牧場における放牧延べ頭数 43,859頭
評価等	・夏山冬里方式により、畜産農家の負担が軽減され、更に飛騨牛の安定生産・飛騨牛ブランドの向上が図られている。 ・牧場の現状に応じた放牧頭数の調整を行い、堆肥・肥料・牧草種子散布等により放牧場を活性化し、放牧頭数の増頭を図った。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定 ・牧場の管理方法と牧場における迅速な家畜伝染病防疫体制の強化

5.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	・5牧場における放牧延べ頭数 40,802頭
評価等	・夏山冬里方式により、畜産農家の負担が軽減され、更に飛騨牛の安定生産・飛騨牛ブランドの向上が図られている。 ・牧場の現状に応じた放牧頭数の調整を行い、堆肥・肥料・牧草種子散布等により放牧場を活性化し、放牧頭数の増頭策を講じた。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定 ・牧場の管理方法と牧場における迅速な家畜伝染病防疫体制の強化

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額	22,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
24,234	21,550	21,550	200
7,800	20,850	20,850	13,050
16,434	700	700	△ 12,850
査定額	説明		
13,850			
1,200			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

施策の実施方針	
担当課 予算要求 ポイント	・放牧場内施設の老朽化による修繕 ・家畜伝染病対策等の防疫措置の向上

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

25_畜産課.xlsx_8

52230

事業シート(平成29年度決算)

25_畜産課.xlsx_9

事業名	52235 優良飛驒牛固定推進事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約	・基幹産業の一つである農林畜産業の振興等を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
					款	5	農林水産業費		個別分野	7	畜産業		
					項	2	畜産業費		施策概要	2	ブランド力のある安全・安心な産地産品づくり		
					目	2	畜産振興費		根拠計画				
担当課	農政部 畜産課		内線	2240									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・遺伝的に生産性が高い繁殖牛や優良な乳用牛の保留または導入によるブランド強化	概要	・優良飛驒牛、優良乳用牛増頭に対する助成 ・家畜共済対象外の早期の流死産等の事故に対する互助のための基金造成
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標
生乳生産量(年間)	9,988t	10,029t	10,000t

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H28		H29		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		42,061	34,451	42,070	42,070	33,668
特定財源	国費 ()					
	県費 (繁殖雌牛増頭支援事業費 10/10)			1,500	1,500	0
	その他(優良雌牛保留対策事業雑入)	17,550	13,923	17,550	17,550	13,455
一般財源		24,511	20,528	23,020	23,020	20,213
個票枝番	主な事業内容					
	優良雌牛確保対策に対する助成	35,100	27,846	35,100	35,100	26,910
	優良乳用牛保留・導入に対する助成	1,050	1,050	1,050	1,050	1,050
	優良飛驒牛増頭推進事業	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
	飛驒牛生産経営安定推進事業	900	548	900	900	708

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	・優良雌牛確保対策 119頭 ・優良飛驒牛増頭推進 50頭 ・優良乳用牛保留・導入対策 30頭
評価等	・肉用繁殖雌牛や乳用牛育成にかかる素畜経費は大きな負担であるが、本事業はブランド強化、増頭、経営維持に有効である。 ・家畜共済で補填されない流死産等の子牛事故に対する互助事業を支援することにより、繁殖経営の影響を和らげる効果がある。
次年度以降の考え方(担当課)	・条件に当てはまる優秀な雌子牛の掘り起し、さらなる保留・導入の推進を図る。 ・飼料及び関連資材価格の高止まりによる畜産経営継続意欲の減退により高齢者及び小規模繁殖経営農家の廃業が進む中、優良雌牛の増頭により飛驒牛生産繁殖雌牛および乳用牛の経営基盤を強化し、畜産の経営安定を図る。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定

5.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	・優良雌牛確保対策 115頭 ・優良飛驒牛増頭推進 50頭 ・優良乳用牛保留・導入対策 30頭
評価等	・肉用繁殖雌牛や乳用牛育成にかかる素畜経費は大きな負担であるが、本事業はブランド強化、増頭、経営維持に有効である。 ・家畜共済で補填されない流死産等の子牛事故に対する互助事業を支援することにより、繁殖経営の影響を和らげる効果がある。
次年度以降の考え方(担当課)	・条件に当てはまる優秀な雌子牛の掘り起し、さらなる保留・導入の推進を図る。 ・高齢者及び小規模繁殖経営農家の廃業が進む中、優良雌牛の増頭により担い手農家の飛驒牛生産繁殖雌牛および乳用牛の経営基盤を強化し、畜産の経営安定を図る。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額	42,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
42,020	42,070	42,070	0
1,500	1,500	1,500	0
17,550	17,550	17,550	0
22,970	23,020	23,020	0
査定額	説明		
35,100	優良雌牛確保対策事業補助金		
1,050	優良乳用牛保留・導入推進事業補助金		
5,000	優良飛驒牛増頭推進事業補助金		
900	飛驒牛生産経営安定推進事業補助金		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

施策の実施方針	
担当課 予算要求 ポイント	・優良雌牛の保留・導入 ・組合員相互の連携強化と意欲的な「飛驒牛」改良生産強化

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

25_畜産課.xlsx_9

52235

事業シート(平成29年度決算)

25_畜産課.xlsx_10

事業名	52245 飛騨食肉センター助成事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約	・基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
					款	5	農林水産業費		個別分野	7	畜産業		
					項	2	畜産業費		施策概要	3	販路の拡大と供給の安定化		
					目	2	畜産業費		根拠計画				
担当課	農政部 畜産課		内線	2240									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・畜産の振興及び安全・安心な食肉の安定供給	概要	・危険部位焼却に係る経費の一部助成(BSE対策) ・食肉センター建設に係る地元負担金(債務負担) ・豚と畜ライン停止による近隣と畜場への輸送費等の助成 ・と畜部門運営経費の一部助成
----	-----------------------	----	---

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標
肉用肥育牛飼養頭数	5,414頭	5,266頭	6,200頭
肉豚出荷頭数	5,563頭	5,626頭	6,000頭

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H28		H29		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		68,305	65,813	68,515	68,515	65,842
特定財源	国費 ()					
	県費 ()					
	その他()					
一般財源		68,305	65,813	68,515	68,515	65,842
個票枝番	主な事業内容					
	飛騨食肉センター建設助成事業(債務負担)	25,755	25,755	25,755	25,755	25,755
	BSE対策、肉豚出荷等に対する助成	42,550	40,058	42,760	42,760	40,087
	岐阜県食肉基幹市場建設協議会負担金					

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	・危険部位焼却に係る経費の一部助成(BSE対策) ・食肉センター建設に係る地元負担金(債務負担) ・豚と畜ライン停止による近隣と畜場への輸送費等の助成 ・と畜部門運営経費の一部助成
評価等	・食味性が高い飛騨牛が飛騨食肉センターを介して、安全安心な畜産物として国内外に供給されることで、更にブランド力が増進されている。飛騨広域の支援により、極めて高い衛生レベルで食肉処理加工が実施できている。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定 ・各種助成事業の継続実施

5.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	・危険部位焼却に係る経費の一部助成(BSE対策) ・食肉センター建設に係る地元負担金(債務負担) ・豚と畜ライン停止による近隣と畜場への輸送費等の助成 ・と畜部門運営経費の一部助成
評価等	・食味性が高い飛騨牛が飛騨食肉センターを介して、安全安心な畜産物として国内外に供給されることで、更にブランド力が増進されている。飛騨広域の支援により、極めて高い衛生レベルで食肉処理加工が実施できている。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定 ・各種助成事業の継続実施

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額	68,200
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
68,491	68,500	68,500	△ 15
68,491	68,500	68,500	△ 15
査定額	説明		
25,755	飛騨食肉センター建設助成事業(債務負担)		
42,740			
5			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

施策の実施方針	
担当課 予算要求 ポイント	・飛騨牛の振興、食肉の安定供給

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

25_畜産課.xlsx_10